

成城教育

第186号

2019年12月30日

特集 子どもの遊び



成城学園教育研究所

「表紙」のことは

幼稚園 中森千佳

年長組で、「色画用紙の貼り絵」を作りました。今まで、クレヨンで「自分」を描く経験は重ねてきましたが、画用紙を切り、糊で貼り合わせて自分の体を作るという活動に、今回初めて挑戦しました。作る時には、自分の特徴や普段の体の動きなどを思い出し、意識しながら取り組みました。まず、鉛筆で顔や体のパーツの線を描き、ハサミで切り取ります。この時、一枚の紙で作るのではなく、体の部位ごとに異なる紙を使い分けました。次に、重ねていく順番に気を付けながら、のりで貼り合わせて完成させました。作者に話しを聞いてみると（左から）

①「ワンピースを着ているの」お気に入りの洋服を着た自分を表現しようです。

②「髪の毛と、洋服の形を切るのが難しかった。」方向も考えながら髪の毛を切って貼り合わせ、袖口にも工夫が見られます。

③「走っている所にした」走るのが好きだから、腕や足の形や向きを考え、このポーズにしたそうです。

④「目を切るのが大変だった」滑らかな丸に近づけようと、一生懸命紙を切ったそうです。

製作中、子どもたちは、「楽しいから笑った口にしよう!」と考え、パーツを切ったり、お互いの姿と作品を見て、「○○ちゃんに本当によく似ているね!」と良い所を認め合う姿がありました。また、沢山のパーツを作る中で、体は色々な部位によって構成されていることを改めて知りました。「自分」と向き合い、細部にまで注目し表現された作品は、今にも動き出しそうです。

こうして、一人ひとりがそれぞれ違う、とても生き生きとした作品ができたので、担任はこの活動での学びを活かして凸版版画に繋げることにしました。年長児四十人の版画の作品は、文化祭の学園パンフレットの表紙を飾り、文化祭当日も展示し、多くの来園者に見ていただきました。細かなハサミさばきを必要とし、工夫を凝らした製作で、年長組ならではの作品となりました。

成城教育

第 186 号

©成城学園教育研究所

◆表紙：幼稚園年長組（左から）梶桜、杉本悠真、川口颯太、荒井杏奈

「表紙」のことは 中森千佳

口絵グラビア 初等学校 新校舎で遊ぶ子どもたち

カット 栗津謙吾

■特集 子どもの遊び

現代「遊び」考 平野篤司 5

第一部 初等学校の「遊び」の授業

一年生の遊びの場面より 篠田達也 10

一年生 遊びの授業 大槻俊也 13

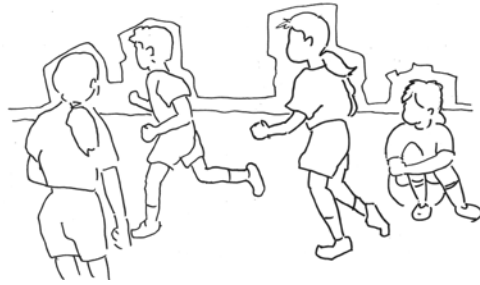
遊びに学ぶ 長田柊香 19

第二部 子どもたちの遊びの実態

遊びから学ぶ 加藤由紀子 24

子どもと「遊ぶ」 小宮山 洋 28

成城っ子の遊びから見えてくるもの 秋山朋也 32



第三部 「遊び」をめぐるエッセイ

私の子どもと私と	北村 将	38
荒川区を走る路面電車	日下部耕二	39
ゲームは「遊び」か	河渕悠希	40
何して遊ぶ？	萩野仁美	42
孫来る	鈴木純二	43
こふん・古墳・ワオキツネザル	林 幸司	44
遊びと仕事	松澤裕樹	45
カブトムシの夏	時田郁子	47
遊び友だちと年の差	俵木 悟	48
人は人の中で	松田美作子	49
子どもの遊び——社会を映し出す鏡	浦山聖子	51
自然環境の中の「遊び」と「学び」	打越綾子	52
子供の遊びが社会を変える？	竹之内玲子	53
幼稚園の思い出	後藤康雄	54

《大学研究室から》 コンビニの研究室、国際交流の研究室	北山研二	56
《すいひつ》 How could I bring out the “MISBEHAVIOR”?	木村大望	65
《すいひつ》 あれはなんだ	中村國則	68

ブックレビュー

片山幽雪 著 聞き手 宮辻政夫・大谷節子

岩波書店 二〇一七年

『無辺光 片山幽雪聞書』

高橋葉子 72

『成城教育』角田氏に対する回答

油井雄二 75

角田氏に答う

宮崎修多 82

映画で見る成城学園 Vol. 16

高田雅彦 87

教育研究所報

三階に家なし 其十八 ― 啓蒙をハカにするな ―

宮崎修多 101

教育研究所への階段 161

新倉貴仁 104

編集後記

106